

一般質問通告書

【第82回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様

多可町議会議員 大山由郎



受 領 日	番号
平成 29 年 12 月 / 日	/
午前・午後 8 時 30 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 高齢者の生活を応援せよ	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

我が国は、想定外の速さで高齢化が進展し、世界最高水準の高齢化率になっている。多可町の人口は年々減少し、また、高齢化率はすでに30%を超えており、全国平均より7ポイント以上高くなっている。

今後、高齢者が笑顔で暮らすためには、様々な不安を取り除かなければならない。

そこで、特に最近身近な高齢者の間で不安視されている「買い物難民」「ゴミだし難民」等に関係する以下2点について、問うものである。

①多可町では、高齢者等の足の確保のために「買い物難民」を出さないために、福祉タクシー券交付事業、コミュニティーバス事業、また、社協による買い物ツアー事業等が実施され、高齢者等をサポートしている。「買い物難民」とは、交通網の弱体化と共に、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々、「交通弱者」ともいうが、「交通弱者」にとって多可町の体制は万全ではない。

「多可町地域公共交通網形成計画」策定のため、6月28日、平成29年度第1回「多可町地域公共交通活性化協議会」が開催されているが、出席者の意見は集約されているか、また、アンケート調査中とのことだが、その結果は公表すべきだ。この計画は平成29・30年度で策定とされているように、結果が出るのはまだ先の事だ、町長は現在行われている事業をいつまで続けるのか、デマンド型乗合タクシー（目的地に直行する通常のタクシーとは異なり、ワゴン車などで他の人と乗り合いながらそれぞれの目的地まで送迎する車）などの移行等、の考えはあるのか見解を伺いたい。

②核家族化が進展する中、自分でゴミだしが出来ない人が増加している。

先ほどの「買い物難民」については、依然より各地で問題になっているが、近年「ゴミ出し難民」と言う問題が浮き彫りになってきた。「ゴミだし難民」とは、高齢に伴う身体能力の低下や病気等によって、ゴミを出すことが困難な人の事だが、以前、新聞の投稿欄に、「高齢の女性は足が不自由で特に、雨の日のゴミ出しは大変だ。傘をさして重い袋を持つ姿を見かねた中学生が、手伝い始めた。お礼に小遣いを挙げると言う「それがほしくて手伝っているのではない」と言う心温まるはなしが載っていたが、高齢者のゴミだしはいつもつらい、最近の新聞の投稿欄には、高齢者のゴミだし時の悩みの投稿が目立つ。

特にこれから独り暮らしの高齢者は増えてくるが、福祉サービスの一環として、多可町も検討する余地はあると思うが、町長の見解はどうか。